



「地域の核となる医歯連携拠点歯科医療機関」養成講習会

疾患を理解して、口腔管理・歯科治療をより効果的に

第9回 疾患別口腔ケアセミナー

～「肝臓・胆嚢・膵臓疾患」専門医による～

全身疾患への理解を深める基盤作りとして、広島大学病院では医科領域の先生方を講師に迎え、研修会を開催しております。第6～10回目は最も紹介率の高い「消化器外科領域」を臓器ごとに、今回第9回目は「肝臓・胆嚢・膵臓疾患」について、専門医である消化器・移植外科の小林 剛先生に御講義をいただきます。

消化器外科疾患による手術、化学療法などを継続している患者は年々増加傾向にあります。どのような治療を患者が受け、どのような副作用に苦しんでいるかを多少でも理解し、また全身疾患の生命予後を考慮した上で、より患者のニーズに合わせた口腔管理を行うために、疾患を少しでも知る機会があればと、講師の先生に貴重なお時間を頂き、このようなセミナーを開催する運びとなりました。

さらに、現在月に200名を越える医科領域からの紹介患者に対して、より充実した口腔管理を行うためには「地域の核となる医歯連携拠点歯科医院の確立、連携システムの整備」が急務の課題と考えております。今後の連携システム整備の発展と充実の足がかりとなりますよう是非沢山の先生方、衛生士さんのご参加をお待ち致しております。



消化器・移植外科
小林 剛先生

日時

2016/ **3月10日(木)**
18:00～
(45分程度)



入場料不要

広島大学医学部第4・5講義室
(サテライト中継 第4講義室)

- 駐車料金は、30分までは無料。以後30分毎に300円となります。
なるべくバスなどの公共交通機関でおいでくださるよう、ご協力をお願い申し上げます。

今後の予定 第10回 2016年4月下旬 臓器移植 石山宏平先生
第11回以降慢性疾患(循環器内科,脳神経内科,精神科 等)